

## 家づくりの要である住宅設計を考えてみよう（その8）

### ～ 吹き抜け ～

#### 1 吹き抜けについて

吹き抜けは平面的な広がりだけでなく、立体的な空間の演出ができます。また、実際の空間よりも広く見えます。ですから、狭い空間を広くそして家族の豊かな生活空間を演出したい場合には有効な手段ではないかと思います。一方、デメリットもありますので対策を十分に考慮した上で、吹き抜けを活用したいものです。

#### 2 吹き抜けを設ける位置

吹き抜けを設ける場所は階段の位置と併せて考えたいものです。

##### (1) リビング等

リビング等に設けた場合は、1階のリビングから2階にある子供室の気配を感じることができるなど、家全体が家族の一体となった生活空間になることで、家族のコミュニケーションが強くなります。

##### (2) 玄関ホール

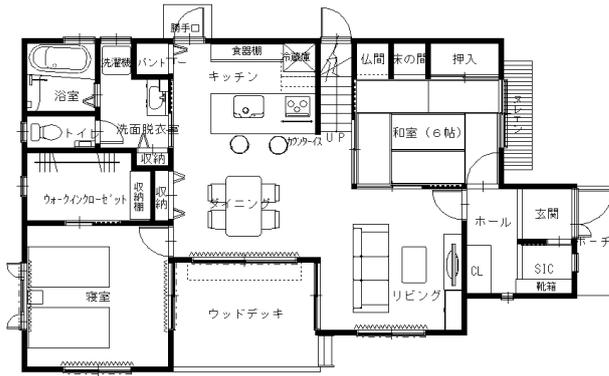
玄関ホールに設けると玄関ホールが広く見えます。お客さんが多かったりするような家の玄関に適します。

#### 3 吹き抜けのメリット

- (1) 天井が高いから、空間が広く感じられて開放感を感じることができる。
- (2) 高いところに窓などを設置すれば自然の光も取り入れやすくなる。

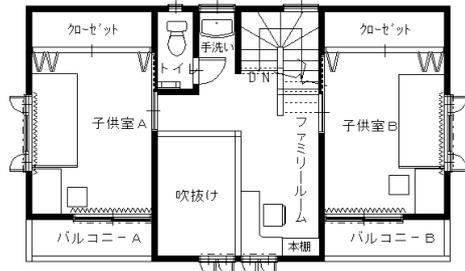
#### 4 吹き抜けのデメリット

- (1) 暖かい空気は上昇するので、特に暖房の効率が悪くなる。  
対策：床暖房方式や断熱材で建物全体を包んだ高气密・高断熱住宅など、省エネを踏まえた室内環境の在り方について考える。
- (2) 暖かい空気は上昇するので、夏は吹き抜け上部が暑くなる。  
対策：通風と日照調整
- (3) 音が漏れやすい  
対策：2階にキッチンの音や1階の生活音を防ぐことは困難であるが、各部屋の気密性を高めるとか遮音性のある壁材にする。
- (4) 天井が高い場所にあるからメンテナンスや手入れが大変である。  
対策：照明は付け替えの少なくてすむLEDなどを検討したり、窓が汚れにくいように窓庇を付けたりする。



1階

吹き抜け 1

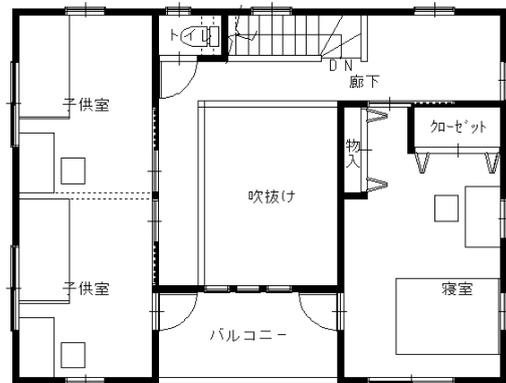


2階

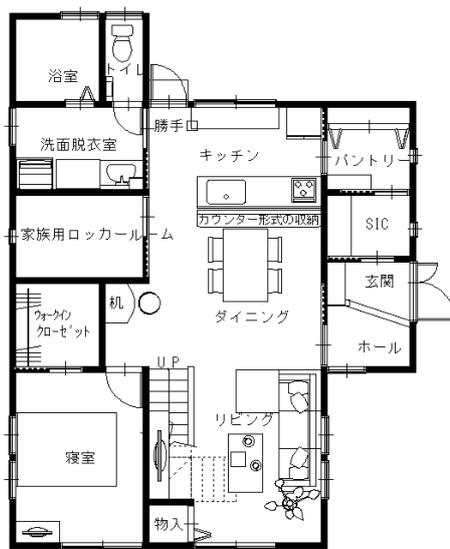


1階

吹き抜け 2

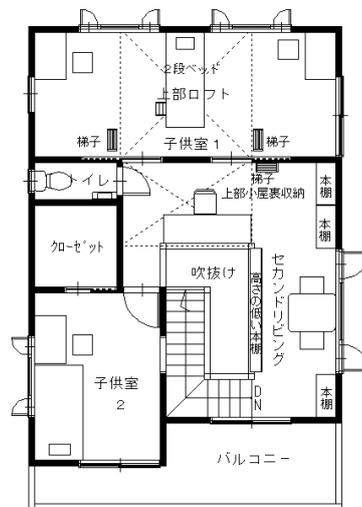


2階



1階

吹き抜け 3



2階